

# 四條畷市議会だより



主な  
掲載内容

- 02 ..... 正副議長就任のあいさつ/5月定例議会及び5月臨時議会のあらまし/  
審議結果
- 03-04 ..... 新しい議会の構成/人事案件/意見書

## 就任あいさつ



議長  
ふじもと みさこ  
藤本 美佐子



副議長  
きしだ あつこ  
岸田 敦子

市民の皆様には、平素より市政並びに市議会に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、5月定例議会におきまして、私たちは議長並びに副議長に就任させていただきました。

もとより微力ではございますが、市民の皆様のご信頼と期待に応えられるよう、公平・公正で円滑な議会運営に努めてまいりたいと存じます。

さて、依然として世界中で猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症に対しては、感染拡大防止はもとより、社会、経済への影響を注視しながら対策を行っていく必要があります。先行きの見通しが立たない中、市民の不安は広がり、経

済活動や市民生活に多大な影響が出ております。その影響を最小限に食い止め、市民の皆様ご安心・安全な生活を確保し、一日も早く活力のある経済活動が再開できるよう努めてまいります。

私たち市議会議員は、実力や魅力をいかんなく発揮し、新しい時代にふさわしい活力にあふれた地域社会の実現に向け、より一層精力的に取り組む所存でございます。

市民の皆様には、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。



## 5月定例議会及び5月臨時議会のあらまし

令和4年5月定例議会が5月18日に開会されました。この定例議会では、専決処分の報告と、議員から提出された議決すべき計画に関する特別委員会の設置について及び意見書2件の審議を行い、それぞれ可決しました。

その後、議長、副議長の選挙をはじめ、監査委員の選任や一部事務組合議会議員の選挙等を行った結果、議長に

藤本美佐子議員、副議長に岸田敦子議員が当選され、また監査委員には小原達朗議員が選任されました。

また、5月24日には、令和4年度四條畷市一般会計補正予算(第1号)を議題として臨時議会を開催し、可決しました。

### 令和4年5月定例議会審議結果一覧表

全会一致で可決した議案		概要 (議案の説明)
同意	監査委員の選任について	大矢克巳氏が令和4年5月18日付けをもって退職されたことに伴い、その後任として小原達朗氏を選任する。
議会 議案	議決すべき計画に関する特別委員会の設置について	四條畷市議会の議決すべき事件を定める条例に基づき、市政に関する議決すべき計画の策定に係る調査研究を行うため、特別委員会を設置する。
	大阪広域水道企業団に統合したメリットを最大限に追求した企業団運営を求める意見書について	4頁に全文掲載。
	大阪広域水道企業団の議員定数に関する意見書について	4頁に全文掲載。

### 令和4年5月臨時議会審議結果一覧表

全会一致で可決した議案		概要 (議案の説明)
補正 予算	令和4年度四條畷市一般会計補正予算(第1号)	現予算から2億6,224万円増額し、予算総額を222億2,924万円と定める。

# 新しい議会の構成

令和4年5月18日現在

ふじもと みさこ

**藤本 美佐子**

議長

きしだ あつこ

**岸田 敦子**

副議長

おぼら たつろう

**小原 達朗**

監査委員（議員内選任）

◎委員長 ○副委員長

常任委員会	所属委員名				
総務建設常任委員会（定数6）	◎長畑 浩則 ○吉田 裕彦	小原 達朗 吉田 涼子	岸田 敦子 大矢 克巳		
教育福祉常任委員会（定数6）	◎島 弘一 ○柳生 駿祐	小原 達朗 渡辺 裕	瓜生 照代 森本 勉		
予算決算常任委員会（定数10）	◎森本 勉 ○吉田 涼子	瓜生 照代 島 弘一	渡辺 裕 吉田 裕彦	岸田 敦子 柳生 駿祐	長畑 浩則 大矢 克巳
議決すべき計画に関する特別委員会	◎吉田 裕彦 ○島 弘一	小原 達朗 長畑 浩則 大矢 克巳	瓜生 照代 吉田 涼子	渡辺 裕 森本 勉	岸田 敦子 柳生 駿祐
議会運営委員会	◎瓜生 照代 ○島 弘一	吉田 裕彦 大矢 克巳			
会派代表者会議	議長	副議長	幹事長		
	藤本 美佐子	岸田 敦子	瓜生 照代 吉田 裕彦	島 弘一 大矢 克巳	
議会だより編集委員会	◎藤本 美佐子 ○岸田 敦子	長畑 浩則 森本 勉	吉田 涼子 柳生 駿祐		

## 会派構成表

◎幹事長

会派名	所属議員名				
市議会公明党	◎瓜生 照代	小原 達朗	吉田 涼子		
畷ビジョンの会	◎島 弘一	長畑 浩則			
なわて葵風会	◎吉田 裕彦	森本 勉	藤本 美佐子		
大阪維新の会	◎大矢 克巳	柳生 駿祐			
会派に属さない議員	渡辺 裕	岸田 敦子			

### 訂正とお詫び

令和4年5月15日発行の四條畷市議会だより第217号、P2あらましのところで、継承は承継に、P3決議書のところで、抗議分は抗議文に、P9代表質問・渡辺裕議員のところで、つながるはつながるに、それぞれ訂正し、お詫びいたします。

一部事務組合の一部に変更が生じ、次のとおりとなりました。

名称	所属議員名
飯盛霊園組合議会議員	吉田 涼子 大矢 克巳
四條畷市交野市清掃施設組合議会議員	小原 達朗 岸田 敦子 島 弘一 吉田 涼子 森本 勉 大矢 克巳
大東四條畷消防組合議会議員	瓜生 照代 渡辺 裕 森本 勉 吉田 裕彦

## 人事案件

### 監査委員（議員内選任）

監査委員 大矢克巳氏の後任として小原達朗氏を選任することに同意しました。



監査委員（議員内選任）  
おぼら たつろう  
**小原 達朗** 議員

## 意見書

### 大阪広域水道企業団に統合したメリットを最大限に追求した企業団運営を求める意見書

本市水道事業の貴団への統合に向けた事前協議のなか、「統合した場合は、事業債の低減及び交付金の活用により、将来の水道料金（供給単価）の値上げを抑制（値上げ幅の縮小や値上げ時期の延長）できることが見込まれる。」と示され、本市においては、平成51年度まで値上げが抑制できるとのシミュレーションのもと、他市に先駆け、平成29年4月に貴団へ統合した経緯がある。

しかしながら、令和2年3月策定の「大阪広域水道企業団経営戦略2020-2029」では、改めての試算の結果、本市水道事業の収益的収支の単年度損益が、令和7年度からマイナスとなる見込みであるとされ、当時、市民の理解を求めた統合メリットの内容との乖離が生じている。

料金改定の時期が13年間も前倒しという短期での変更となれば、市民の直接的な負担や不信感のもと、「広域的な連携強化のもと、相互補完による相乗効果を最大限に発揮することをめざす。」とした府域一

水道への取組み、しいては、それに繋がる他団体の統合促進にも多大な影響があると懸念することから、下記事項について、早期に取り組むことを強く求める。

### 記

- 1 今後の統合に向けての団体との事前協議において、統合後に齟齬が生じることのないよう、調査による分析や経営試算の根拠等を双方で確認し、十分な検証を行うこと。
- 2 統合時に示された水道料金改定時期が前倒しとならない、また、改定する際の値上げ幅が大きくなるように、各市にある既存施設や設備について、状況を踏まえ、広域化によるスケールメリットを最大限に活用のうえ、経営の健全化・安定化に向けての計画的な更新を進めること。
- 3 統合後においても、当該団体の住民から信頼される安心安全な水道事業を推進すること。

### 大阪広域水道企業団の議員定数に関する意見書

昨今の人口減少等の影響による社会情勢の変化や頻発する自然災害等により、水道事業を取り巻く環境に大きな変化が生じている。

言うまでもなく、水道供給事業は、住民生活に欠かせないライフラインとして、持続性、安全性、強靱性が求められる事業であり、住民代表としての議員の役割は非常に重要である。

以上の観点より、企業団議会の議員定数について、すべての団体に1議席配分されるべきとの主旨で、平成29年度に本市も含む複数の団体から請願、要望等が提出された経緯がある。

現状は33議席での運営をされているが、本市統合以降にも統合団体が増え、さらに、今後、府域一水道をめざして進むなか、より各団体の議席配分についての諸課題が生じると想定される。

加えて、昨今の厳しいコロナ禍における安心安全な水道事業の展開について、住民代表としての議員の役割は、これまで以上に重要性が増している状況にある。

これまで継続協議とされた議員定数の在り方については、令和2年度から企業団議会において、議員定数等調査委員会を設置し、現在、大多数の市町村議会からは、本意見書趣旨と同様の意向のもと、協議が進められている。

改めて、企業団加盟の42市町村すべての議員が、責任ある発言の場と機会を与えられるべきとの観点、加えて、今後の府域一水道に向けた取組みを一層推進させるためにも、下記事項を前提として、議員定数の配分について、具体的な協議を進めていただくことを強く求める。

### 記

- 1 企業団議会議員の定数については、企業団構成42市町村のすべてに議席を配分されるよう、企業団規約を変更されたい。